

目次

- Acrobat Reader を使う
- PDF 文書を印刷する
- PDF 文書を表示する
- PDF 文書を閲覧する
- フォームに入力する
- PDF テキストやグラフィックを別のアプリケーションにコピーする
- Web 上で PDF を使う
- 色の補正について



Adobe® Acrobat® Reader 4.0

Adobe® Acrobat® Readerはアドビシステムズ社のWebサイト(<http://www.adobe.co.jp>)から無料でダウンロードできます。アドビシステムズ社のWebサイトの英語版ホームページ(<http://www.adobe.com>)では、[Adobe Sites] ドロップダウンリストで国名をクリックして言語を選択できます。ただし、サイトに含まれる情報の詳細は言語によって異なります。

Acrobat Reader を使う

Acrobat Reader を使うと、Adobe Portable Document Format (PDF) 文書を簡単に、表示、閲覧および印刷することができます。

Acrobat Reader は、コピーに次の情報をすべて含む場合に限り、いくつでもコピーして配布することができます。

- アドビシステムズ社の Acrobat Reader インストーラ (ただし、改変することはできません)
- Acrobat Reader エレクトロニックエンドユーザ使用許諾契約書
- Acrobat Reader に含まれる著作権およびその他の所有権情報
- Acrobat Reader を含むすべての媒体およびパッケージに以下の情報を提示すること

「Acrobat® Reader Copyright © 1987-1999 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe、Adobe のロゴ、Acrobat、および Acrobat のロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。」

Acrobat Reader エレクトロニックエンドユーザ使用許諾契約書および所有権情報は Acrobat Reader インストールプログラムに含まれています。Acrobat Reader ソフトウェアのインストールを変更または作成することは禁じられています。Acrobat Reader 製品の使用許諾契約について詳しくは、各製品のインストール中に表示される Acrobat Reader エレクトロニックエンドユーザ使用許諾契約書を参照してください。

Acrobat Reader の配布時に専用の Adobe Acrobat ロゴを使うことができます。詳しくは、アドビシステムズ社の Web サイト (www.adobe.co.jp) を参照してください。

PDF 文書を開く

PDF 文書を作成するとき、作成後の PDF 文書の開き方を設定できます。例えば、特定のページが開くようにしたり、開いたときの表示倍率を指定したり、しおりやサムネールが表示されるようにすることができます。

全画面表示で開くように設定されている文書を開くと、ツールバー、コマンドバー、メニューバー、およびウィンドウコントロールは表示されません。このような場合は、[Esc] キー ([Esc] キーで全画面表示を終了するように環境設定されている場合) を押すか、[Ctrl + L] キー (Microsoft® Windows®) または [Command + L] キー (Macintosh) キーを押して全画面表示を終了します。全画面表示について詳しくは、[全画面表示で文書を読む](#) を参照してください。

PDF 文書を開くには、

次のいずれかを行います。

- [開く] ボタン  をクリックするか、[ファイル] メニューの [開く] をクリックします。[ファイルを開く] ダイアログボックスで、ファイル名を選択して [開く] をクリックします。PDF 文書には、通常、.pdf 拡張子が付いています。
- [ファイル] メニューで開きたい文書のファイル名を選択します。[ファイル] メニューには、最近開いた PDF 文書が 4 つ表示されます。
- ファイルシステムで、ファイルアイコンをダブルクリックします。

注意: Macintosh 上で、Windows で作成された PDF 文書のアイコンをダブルクリックしても開けない場合があります。このような場合は、Acrobat の [ファイル] メニューの [開く] をクリックして一度文書を開いてから、文書を閉じ、もう一度やり直してください。一度 [開く] コマンドを使って開いた文書は、次からダブルクリックして開くことができます。

Acrobat Reader 4.0 では、適切な言語キットをインストールしていると、日本語、韓国語、中国語(繁体)、および中国語(簡体)の PDF 文書を表示および印刷することができます。

Web 上の PDF 文書を表示する

World Wide Web またはイントラネット上にある PDF 文書は、Web ブラウザで表示できます。Web 上の文書にはすべて、Uniform Resource Locator (URL) という個別のアドレスが付いています。Web 上にある PDF 文書は、その文書にリンクする URL をクリックすると、文書を Web ブラウザで開くことができます。

Web ブラウザで PDF 文書を読む

PDF 文書は、Netscape® Navigator® 4.0 以上、または Internet Explorer 4.0 以上と互換性のある Web ブラウザで表示できます。必要なプラグインは、Acrobat Reader をインストールするときに自動的にインストールされます。お使いのブラウザの設定方法について詳しくは、[Web ブラウザのプラグインをインストールする](#)を参照してください (Web ブラウザで PDF 文書を開くと空白ページが表示される場合は、お使いの Web サーバのバージョンが古い可能性があります。PDF ファイルをローカルドライブに一旦保存して、Acrobat Reader を使って開いてみてください)

PDF 文書を Web ブラウザで表示するときは、Acrobat Reader のすべてのツールをブラウザで使用できます。Windows では、ツールバーの左側にある [Acrobat] アイコンの横の 2 本の縦線をクリックすると、ツールバーを最小化または最大化することができます。

注意 : キーボードのコマンドの多くは、Acrobat Reader ではなく Web ブラウザに割り当てられるので、Acrobat Reader のショートカットキーがブラウザウィンドウで使えないことがあります。

OLE オブジェクトとして別のファイルに埋め込まれている PDF ファイルを開く

Microsoft Word、Excel、または PowerPoint® などの OLE (Object Linking and Embedding) 1.0 または OLE 2.0 対応のコンテナアプリケーションで作成した文書に埋め込まれた PDF 文書を読むことができます。

埋め込まれた PDF ファイルを表示するには、

- 1 PDF 文書が埋め込まれている文書を開きます。
- 2 文書内の [Acrobat] アイコンをダブルクリックします。Acrobat Reader が起動し、PDF 文書が表示されます。

注意 : Acrobat Reader 内で、文書を変更したり保存したりすることはできません。

PDF 文書を印刷する

Acrobat Reader で、PDF 文書を表示したり印刷したりできます。

PDF 文書を印刷するには、

1 [ファイル] メニューの [ページ設定] をクリックし、印刷の全般的なオプションを設定します。使用できるオプションは、プリンタやプリンタドライバによって異なります。詳しくは、プリンタドライバのマニュアルを参照してください。

2 [印刷] ボタン  をクリックするか、[ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。プリンタ、印刷範囲、印刷部数、および他のオプションを指定して、[OK] をクリックします。オプションの多くは、他のアプリケーションの設定と同じですが、次の事項に注意してください。

■ [選択されたページ] や [選択されたグラフィック] (Windows) または [選択されたサムネイル / グラフィック] (Macintosh) オプションを選択すると、[印刷] ダイアログボックスを開く前に選択したページまたはページの範囲だけが印刷されます。

- [ページ指定] オプションの下の [開始] と [終了] ボックスで印刷したいページ範囲を指定します。Windows では、[一般の環境設定] ダイアログボックスで [ページ番号使用] チェックボックスをオンにしていると、ページの通し番号を括弧に入れて入力することができます。例えば、文書の 1 ページ目に「iii」というページ番号が付いている場合には、(1) と入力します。
- [注釈] チェックボックスをオンにすると、ページに付いている Acrobat 注釈のグラフィックが印刷されます。ただし、注釈がオンラインのページで開いていても、常に閉じた状態で印刷されます。
- [用紙サイズに合わせる] チェックボックスをオンにすると、プリンタにセットされている用紙サイズに合わせて、ページが拡大または縮小（および必要に応じて回転）されます。他の多くのアプリケーションでは、このオプションは使用できません。
- [画像として印刷] (Windows) チェックボックスをチェックすると、ページがビットマップ画像として印刷されます (Macintosh では、このオプションは [プリント方法] ドロップダウンリストで設定します)。PostScript® で印刷するにはフォントの数が多すぎる場合や、システムにインストールされていない 2 バイトフォントがファイルに埋め込まれている場合は、このオプションを選択します。
- Windows では、[印刷方法] ドロップダウンリストで、ページを印刷するために使用する PostScript のレベルを指定します。プリンタに合った PostScript のレベルを選択してください。Macintosh では、このドロップダウンリストで、PostScript を使って印刷する（ただし、レベルは選択しません）か、ページをビットマップ画像として印刷するかを指定します。



■ [PostScript3 を使用](Macintosh)チェックボックスをオンにすると、PostScript3 を使って印刷されます。PostScript3 を使って、PostScript をプリンタではなくファイルに出力する場合は、このオプションを選択します (PDF をプリンタに出力する場合は、プリンタドライバによって自動的に指定される PostScript のレベルが使われます)。PostScript3 は、[プリント方法] ドロップダウンリストで [PostScript] を選択した場合だけ使うことができます。[PostScript] を選択し、このチェックボックスをオンにしていない場合は、PostScript2 が使われます。

■ [2 バイトフォントのダウンロード]チェックボックスをオンにすると、PostScript プリンタに 2 バイトフォントがダウンロードされます。2 バイトフォントがインストールされていないプリンタで、2 バイトフォントが埋め込まれていない PDF 文書を印刷する場合は、このチェックボックスをオンにします (PDF 文書に 2 バイトフォントが埋め込まれている場合は、このチェックボックスをオンにしなくても、2 バイトフォントがダウンロードされます)。このオプションは、PostScript2 以上対応のプリンタ、または Type 0 のフォントの拡張をサポートしている PostScript1 のプリンタで使用できます。

注意：ビットマップフォントが使われていたり、フォントの埋め込みが文書だけに制限されている場合は、フォントはダウンロードされません。このような場合は、置換フォントを使って印刷されるので、印刷結果と画面表示が完全に一致しない場合があります。

[2 バイトフォントのダウンロード]チェックボックスをオフにすると、PDF 文書で使われているフォントがプリンタにインストールされていないと正しく印刷されません。PDF 文書で使われているフォントがプリンタにインストールされていなくても、よく似たフォントがインストールされている場合は、そのフォントに置き換えられます。プリンタによく似たフォントがない場合は、欧文には Courier が使われます。

Type 0 のフォント拡張をサポートしていない PostScript1 プリンタを使っている場合や、[2 バイトフォントのダウンロード] チェックボックスをオンにしてもきれいに印刷できない場合は、PDF 文書をビットマップ画像として印刷します。ただし、文書を画像として印刷すると、プリンタのフォントで置き換えるよりも印刷に時間がかかる場合があります。

■ [プリンタハーフトーンを使用] チェックボックスをオンにすると、プリンタのハーフトーンスクリーンを使って、印刷されます。このチェックボックスをオフにすると、PDF ファイルのハーフトーン情報を使って印刷されます。

注意 : [プリンタハーフトーンを使用] チェックボックスをオフにしている場合に、PDF ファイルからプリンタに送信されたハーフトーン情報がプリンタに合っていないと印刷がかなり不鮮明になる場合があります。

日中韓フォントを含む PDF 文書を印刷または表示する

日中韓言語をサポートしないオペレーティングシステムで作業している場合に、これらの言語のテキストを含む PDF ファイルを表示および印刷するためには、アドビシステムズ社の Web サイト (www.adobe.co.jp) から日中韓言語のフォントパックをダウンロードしてインストールする必要があります。中国語 (繁体)、中国語 (簡体)、日本語、および韓国語のフォントを入手できます。

環境設定を設定する

環境設定は、アプリケーションのパフォーマンス、インタフェイス、および動作を変更するための設定です。Acrobat Reader の環境設定では、主に Acrobat Reader の画面上での文書の表示方法を決めます。ただし、これらの環境設定のいくつかは、PDF 文書の作成者によって指定されている設定で上書きされるものがあります。

環境設定を設定するには、

[ファイル]メニューの[環境設定]を選択して、変更したい設定の種類を選択します。

■ [一般の環境設定]では、デフォルトのページレイアウト、デフォルトの倍率、カラーマネージメントシステム、およびその他の基本的なオプションを設定します。詳しくは、[デフォルトの表示方法を設定する](#)を参照してください。

[注釈の環境設定]では、ノートテキストを表示するときに使うフォントとポイントサイズを設定します。詳しくは、[注釈の環境設定を設定する](#)を参照してください。

[全画面表示の環境設定]では、全画面表示方法と切り替え方法を設定します。詳しくは、[全画面表示の環境設定を設定する](#)を参照してください。

[Web リンクの環境設定]では、Web リンク情報の表示方法と、Web リンクをアクティブにすると起動する Web ブラウザを選択します。詳しくは、[Web リンク先の PDF 文書を開く Web ブラウザを選択する](#)を参照してください (Windows のみ)。

Acrobat Reader の別のプラグインをインストールしている場合は、別の設定ができることがあります。詳しくは、プラグインのマニュアルを参照してください。

拡大または縮小表示する

使用できる最小および最大表示倍率は、現在表示されているページのサイズによって異なります。

ウィンドウよりも大きなサイズにページを拡大している場合にページの内容を見るには、[手のひら] ツール  を使ってページを動かします。[手のひら] ツールを使って PDF ページを動かすのは、机の上で紙を手で動かすのと似ています。

表示倍率を上げるには、

次のいずれかを行います。

- [ズームイン] ツール  を選択して、ページをクリックします。
- [ズームイン] ツールを選択し、拡大したい範囲をドラッグします。ドラッグするに従って、選択範囲を示す点線の四角形が表示されます。
- ステータスバーの [倍率] ボタン  をクリックし、表示倍率を選択します。

倍率を下げるには、

次のいずれかを行います。

- [ズームアウト] ツール  を選択して、ページをクリックします。
- [ズームアウト] ツールを選択し、適切なページサイズを示す点線の四角形を描きます。
- ステータスバーの [倍率] ボタン  をクリックし、表示倍率を選択します。

注意:[ズームイン]ツールを選択しているときに,[Ctrl]キー(Windows)または[Option]キー(Macintosh)を押しながらクリックまたはドラッグすると、ズームインではなく、ズームアウトできます。逆に,[ズームアウトツール]を選択しているときに,[Ctrl]キー(Windows)または[Option]キー(Macintosh)を押しながらクリックまたはドラッグすると、ズームインできます。

サムネールを使って表示倍率を変更するには、

枠が表示されているサムネールの枠の右下隅にポインタを置きます。ポインタが両方向矢印に変わったら、枠の隅をドラッグして、ページを拡大または縮小表示します。

ページをウィンドウに合わせて表示するには、

次のいずれかを行います。

- ページ全体がウィンドウ内に収まるようにするには、[全体表示]ボタンをクリックするか、[表示]メニューの[全体表示]をクリックします。
- ページの幅をウィンドウの幅に合わせて表示するには、[幅に合わせる]ボタンをクリックするか、[表示]メニューの[幅に合わせる]をクリックします。ただし、ページの一部が見えない場合があります。
- テキストとグラフィック領域をウィンドウの幅に合わせて表示するには、[表示]メニューの[描画領域の幅に合わせる]をクリックします。ただし、ページの一部が表示されない場合があります。

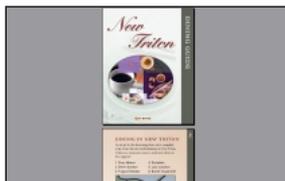
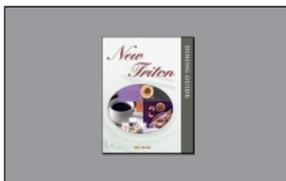
ページを実際の大きさに戻すには、

[実際の大きさ] ボタン  をクリックするか、[表示] メニューの [実際の大きさ] をクリックします。通常、PDF ページの実際の大きさの表示倍率は 100% ですが、PDF 文書の作成者は別の表示倍率に設定している場合があります。

ページレイアウトを設定する

次の 3 とおりのページレイアウトで PDF 文書を表示することができます。

- [単一ページ] レイアウトは、一度に文書の 1 ページだけを表示します。
- [連続] レイアウトは、ページを縦に続けて表示します。
- [見開きページ] レイアウトは、2 ページずつ横に並べて表示します。見開きページとして表示されるので、文書が 3 ページ以上の場合は、1 ページ目が右側に表示されます。



単一ページレイアウト (左)、連続レイアウト (中央)、見開きページレイアウト (右)

[単一ページ] レイアウトで表示しているときに、[編集] メニューで [すべてを選択] をクリックすると、現在表示されているページ内のすべてのテキストが選択されます。[連続] レイアウトと [見開きページ] レイアウトでは、PDF 文書内のすべてのテキストが選択されます。

ページレイアウトを設定するには、

次のいずれかを行います。

- ステータスバーの [ページレイアウト] ボタン  をクリックし、使いたいページレイアウトを選択します。
- [表示] メニューの [単一ページ] [連続] または [見開きページ] をクリックします。



見開きページを見やすく表示するには、[見開きページ] レイアウトを選択し、[表示] メニューの [幅に合わせる] をクリックします。

デフォルトの表示方法を設定する

[一般の環境設定] ダイアログボックスで、デフォルトの表示倍率、ページレイアウトおよび他の表示方法の出っ歯をを設定することができます。ここで行った設定が、デフォルトの表示方法で開くように設定されているすべての PDF 文書に適用されます。

デフォルトの表示方法を設定するには、

[ファイル] メニューの [環境設定] をポイントし、[一般] をクリックします。デフォルトのページレイアウト、カラー管理システム、他の基本オプションを指定して、[OK] をクリックします。

- [デフォルトのページレイアウト] ドロップダウンリストで、最初に文書を開いてスクロールするときのページレイアウトを設定します。1 ページずつ別々に表示したり、縦に続けて表示したり、2 ページずつ横に並べて表示することができます。

- [単位] ドロップダウンリストで、ステータスバーと [ページのトリミング] ダイアログボックスに表示されるページの測定単位を指定します。
- [欧文置換フォント] ドロップダウンリストで、コンピュータにインストールされていない Type 1 と TrueType フォントを Acrobat Reader が置換するマルチプルマスターフォントを指定します。プリンタメモリが不足して PDF 文書が印刷できない場合は、このドロップダウンリストで [Sans のみ] を選択します。この設定を変更した場合は、Acrobat Reader を再起動しないと変更が有効になりません。
- [現在の言語] ドロップダウンリストで、Acrobat Reader ユーザインタフェイスの言語を指定します。Acrobat Reader と一緒にインストールした言語が一覧表示されます。この設定を変更した場合は、Acrobat Reader を再起動しないと変更が有効になりません。
- [グリーキング] チェックボックスをオンにすると、指定したポイントサイズ以下の文字がグレーの線で表示され、表示速度が上がります。
- [文字と白黒画像をスムージング] チェックボックスをオンにすると、テキストと白黒画像の縁がスムーズになり、背景とテキストまたは画像のコントラストが低く抑えられます。画面表示 (特に大きなサイズのテキスト) の画質が向上する場合があります。
- [データ量の多い画像を表示] チェックボックスをオンにすると、128KB より大きな画像もすべて表示されます。ただし、表示ページを切り替えるのに時間がかかる場合があります。このチェックボックスをオフにすると、データ量の多い画像はグレーのボックスで表示されます。
- [ページを端に表示] チェックボックスをオンにすると、PDF 文書が用紙の端から印刷されます。このチェックボックスをオフにすると、プリンタドライバで指定されているとおり、PDF 文書のページが白い境界内に印刷されます。

- [ページ番号使用] チェックボックスをオンにすると、[文書] メニューの [ページ番号] をクリックして PDF 文書にページ番号を設定できるようになります。通常、このオプションは、PDF のページ番号と印刷するページ番号を対応させる場合に使います。PDF 文書のページ番号と括弧で囲んだページ通し番号が、ステータスバー、[ページ指定] ダイアログボックス、[ページの削除] ダイアログボックス、および [印刷] ダイアログボックスに表示されます。例えば、文書の最初のページに「i」という番号が付いている場合は、「i (1 / 10)」と表示されます。このチェックボックスをオフにすると、文書のページ番号情報が無視され、ページ番号がアラビア数字で 1 から付けられます。
- [デフォルト倍率] ドロップダウンリストで、PDF 文書を開いたときに表示される倍率を指定します。ここで設定した倍率は、[開き方の設定] ダイアログボックスの [倍率] ドロップダウンリストで [デフォルト] を選択している文書だけで使われます。
- [描画領域のみを表示する場合の最大倍率] ドロップダウンリストで、[描画領域の幅に合わせる] 表示モード、およびアートを表示する最大倍率を指定します。
- [色] ボックスの [管理システム] ドロップダウンリストで、デバイス間で色を正確に変換するためのカラー管理システムを選択します。
- [バックグラウンドでダウンロード] チェックボックスをオンにすると、ダウンロードした PDF 文書の最初のページが Netscape Navigator と互換性のあるブラウザで表示された後も、Web サイトから引き続き他のページがダウンロードされます。このチェックボックスをオフにすると、指定したページだけがコンピュータにダウンロードされ、他のページをダウンロードするには再度指定し直さなければなりません。



注意：このチェックボックスをオフにしている場合に、Web ブラウザの [戻る] コマンドを使うと予期しない結果になることがあります。例えば、一部分だけダウンロードした PDF 文書から別の文書にリンクし、次に [戻る] コマンドを使って前の文書に戻ろうとすると、リンクする前に見ていたページは PDF 文書の 1 ページ目ではないのに、1 ページ目に戻ることがあります。このチェックボックスをオンにしておくと、Web ブラウザの [戻る] コマンドで問題が発生するのを防ぐことができます。

■ [起動時にスタート画面表示] チェックボックスをオンにすると、Acrobat Reader を起動するたびにスタート画面が表示されます。

■ [起動時に [フィルを開く] ダイアログボックスを表示] チェックボックスをオンにすると、Acrobat Reader を起動するたびに [ファイルを開く] ダイアログボックスが表示されます。

■ [文書間リンクを同一ウィンドウで開く] チェックボックスをオンにすると、リンクされている PDF 文書も同じウィンドウで開くので、Acrobat Reader で開くウィンドウの数を少なくすることができます。このチェックボックスをオフにすると、リンク先に移動するたびに別のウィンドウが開きます。従って、ある文書からリンクをクリックして開いた文書は、それぞれ別のウィンドウで開いたままになります。

注意：このチェックボックスがオンまたはオフのどちらの場合も 設定を無効にするには、[Ctrl] キー (Windows) または [Option] キー (Macintosh) を押しながらリンクをクリックします。

■ [ページキャッシュ使用] チェックボックスをオンにすると、Acrobat Reader でページを見る前に、バッファに次のページを入れます。文書の表示ページ切り替えにかかる時間が短くなります。

- [ファイルを開くリンクを確認] チェックボックスをオンにすると、PDF 文書のリンクから別のアプリケーション内のファイルを開こうとすると、他の人に情報を読み取られる可能性があるというメッセージが表示され、必要に応じて処理をキャンセルできるようになります。このチェックボックスをオフにすると、他のアプリケーション内ファイルへのリンクは無効になります。
- [Web ブラウザに組み込み] (Windows) チェックボックスをオンにすると、Web 上の PDF 文書を、Web ブラウザで表示します。このチェックボックスをオフにすると、Acrobat Reader が Web ブラウザの補助アプリケーションになり、Acrobat Reader で PDF 文書が表示されます。Web 上の PDF 文書の表示について詳しくは、[Web 上の PDF 文書を表示する](#)を参照してください。
- [編集の警告を表示しない] チェックボックスをオンにすると、ノート、リンク、ページ、サムネール、しおりなどを PDF 文書から削除するときに、警告メッセージボックスは表示されません。

全画面表示で文書を読む

全画面表示では、画面全体に PDF ページが表示されます。メニューバー、コマンドバー、ツールバー、ステータスバー、およびウィンドウコントロールは表示されません。PDF 文書の作成者が全画面表示で開くように設定したり、文書を読む各ユーザが全画面表示に設定することができます。全画面表示は、プレゼンテーションでよく使用され、自動ページ送りやページの移動機能を一緒に使うこともあります。



全画面表示でもポインタはアクティブなので、リンクをクリックしてノートを開くことができます。メニューバーやツールバーが表示されていなくても、ショートカットキーを使って次のページに移動したり表示倍率を変えたりすることができます。また、環境設定を設定して、システム上でどのように全画面表示するかを指定することもできます。

文書を全画面表示するには、

[表示]メニューの[全画面表示]をクリックします。次のページに進むには、[Return]キー、下矢印キー、または右矢印キーを押します。前ページに戻るには、[Shift + Return]キー、上矢印キー、または左矢印キーを押します。

注意：Macintoshでモニタを2つ使っている場合に、ページが全画面表示されるのは1つの画面だけです。表示されるページを切り替えるには、全画面表示モードで表示している方のページをクリックします。

全画面表示を終了するには、

[全画面表示の環境設定]ダイアログボックスで[Escキーで取り消し]チェックボックスをオンにしている場合は、[Esc]キーを押します。そうでない場合は、[Ctrl + L]キー (Windows) または [Command + L] キー (Macintosh) を押します。

全画面表示の環境設定を設定する

[ファイル]メニューの[環境設定]をポイントし、[全画面表示]をクリックし、全画面表示の各オプションを設定します。ここで行った設定は、既に独自の全画面表示が設定されていない文書を全画面表示で開く場合にのみ適用されます。

通常はデフォルト設定のままで問題ありません。特に必要な場合以外は変更しないでください。

全画面表示の環境設定を設定するには、

- 1 [ファイル]メニューの[環境設定]をポイントし、[全画面表示]をクリックします。
- 2 [表示切り替え方法]ボックスで次のオプションを指定します。
 - 表示されるページを自動的に切り替えるには、[表示ページを切り替える間隔]チェックボックスをオンにし、間隔を秒単位で指定します。このチェックボックスをオンにしても、マウスやキーボードを使って手動で表示ページを切り替えることができます。
 - [クリックで次のページを表示]チェックボックスをオンにすると、マウスをクリックして、表示ページを切り替えることができます。このチェックボックスをオンにしている場合は、[Return]キー、[Shift + Return]キー（前のページに戻る）または矢印キーを押して表示ページを切り替えます。
 - [最初のページへ戻る]チェックボックスをオンにすると、最後のページまで表示された後に、ページを切り替えると最初のページに戻ります。このオプションは、広告の表示によく使われます。



■ [Esc キーで取り消し] チェックボックスをオンにすると、[Esc] キーを押すと全画面表示を終了することができます。このチェックボックスをオンにしていない場合は、[Ctrl + L] キー (Windows) または [Command + L] キー (Macintosh) を押して全画面表示を終了します。

3 [表示] ボックスで次のようなオプションを指定します。

■ [背景色] ドロップダウンリストで、ウィンドウの背景色を選択します。[カスタム] を選択すると、システムカラーパレットが表示されます。カスタムカラーの設定方法については、お使いのコンピュータのユーザガイドを参照してください。

■ [デフォルトの効果] ドロップダウンリストで、全画面表示に切り替えたときの表示効果を指定します。

■ [マウスカーソル] ドロップダウンリストで、全画面表示でカーソルを表示するかどうかを指定します。

■ [ズーム] ドロップダウンリスト (Macintosh) で、モニタが2つある場合に、全画面表示用のモニタを選択します。[メイン] (メニューバーのあるモニタ) [重なっている最大領域] (文書の最大部分を表示するモニタ) [重なりレベルが最大の領域] (色の数が最大のモニタ) [幅が最大の領域] (水平解像度が最大のモニタ) [高さが最大の領域] (垂直解像度が最大のモニタ) または [広さが最大の領域] (ピクセル数が最大のモニタ) を選択できます。

4 [OK] をクリックします。

Web リンク先の PDF 文書を開く Web ブラウザを選択する

PDF 文書内の Web リンクをクリックすると、デフォルトブラウザが起動し、リンク先の文書が表示されます。しかし、このためには、Acrobat Reader で使用するデフォルトブラウザを設定しておかなければなりません。また、Web ブラウザボタン、リンク情報、およびダウンロード状況の表示と非表示を指定することもできます。

- 1 [ファイル] メニューの [環境設定] をポイントし、[Web リンク] をクリックします。
- 2 [Web リンクの環境設定] ダイアログボックスの [表示] ボックスの [リンク情報] ドロップダウンリストで、ポインタを Web リンク上に置いたときにリンク情報を表示するかどうかを選択します。Web リンクの URL を常に表示する、表示しない、または [Ctrl] キー (Windows) または [Option] キー (Macintosh) を押したときだけ表示することができます。
- 3 [表示] ボックスで次のオプションを指定します。
 - [ツールバーボタンを表示] チェックボックスをオンにすると、コマンドバーに [Web ブラウザ] ボタン  が表示されます。このボタンをクリックすると、Acrobat Reader から Web ブラウザを開くことができます。
 - [進行状況を表示] チェックボックスをオンにすると、Web リンクをクリックしたときにデータのダウンロード状況が表示されます。
- 4 [参照] (Windows) または [選択] (Macintosh) をクリックし、使いたい Web ブラウザを見つけて、[開く] をクリックします。
- 5 [アプリケーション] (Windows) または [接続の種類] (Macintosh) でブラウザを選択します。使っているブラウザが一覧にない場合は、[標準] を選択します。

6 [OK] をクリックします。

文書に関する情報を表示する

[ファイル] メニューの [文書情報] サブメニューには、文書に関する情報を表示するコマンドが含まれます。

文書情報を表示するには、

[ファイル] メニューの [文書情報] を選択して、文書情報の種類を選択します。

- [一般] ダイアログボックスには、PDF 文書に関する基本的な情報が表示されます。詳しくは、[PDF 文書の全般的な情報を見る](#)を参照してください。
- [フォント情報] ダイアログボックスには、使用されているフォントに関する情報が表示されます。詳しくは、[文書で使用されているフォントに関する情報を確認する](#)を参照してください。
- [セキュリティ情報] ダイアログボックスには、文書のセキュリティ設定に関する情報が表示されます。詳しくは、[セキュリティ設定情報を見る](#)を参照してください。

PDF 文書の全般的な情報を見る

[一般] ダイアログボックスには、タイトル、サブタイトル、作成者、およびキーワード情報が表示されます（これらの情報が設定されている場合のみ）。Acrobat、PDFWriter、または Distiller® で設定した次のような属性も表示されます。

- [作成] には、元の文書を作成したプログラム（わかっている場合）が表示されます。

- [PDF 変換]には、PDF 文書を作成するのに使われたアプリケーションまたはドライバが表示されます。
- [作成日時]には、文書が作成された日時が表示されます。
- [更新日時]には、文書が最後に変更された日時が表示されます。

■ [最適化]には、ファイルが最適化されているかどうかが表示されます（ファイルが最適化されている場合は、Web サーバから一度に1ページずつダウンロードできます。）

注意：タイトルとは文書のタイトルのことで、必ずしもファイル名と同じであるとは限りません。タイトルとファイル名は文書ウィンドウのタイトルバーに表示されます。

文書で使用されているフォントに関する情報を確認する

[フォント情報] ダイアログボックスには、元の文書で使用されているフォント、フォントの種類、フォントのエンコーディング、および Acrobat Reader が元のフォントを表示するのに使用しているフォントが一覧表示されます。現在まで表示された部分で使われているフォントだけが一覧表示されています。文書全体で使用されているすべてのフォントを見るには、[フォント一覧] ボタンをクリックします。

[フォント情報] ダイアログボックスを使って、元の文書で使われているフォントを調べて、現在の表示と同じフォントが使われているかどうかを確認できます。置換フォントがきれいに表示されない場合は、システムに元のフォントをインストールするか、文書の作成者に、元のフォントを埋め込んで PDF 文書を作成し直すように依頼してください。

Macintosh 版の Acrobat Reader で置換フォントを作成している間は、「a」の文字が回転しているポインタが表示されます。

セキュリティ設定情報を見る

[セキュリティ情報] ダイアログボックスには、選択した PDF ファイルに設定されているセキュリティが一覧表示されます。

PDF 文書の作成者は、文書を開くために必要なパスワードを指定したり、特定のツールやコマンドをユーザが使えないようにして、ファイルへのアクセスを制限することができます。ファイルにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力しないとファイルを開けません。特定の機能の使用が制限されている場合は、使えないツールやメニュー項目がグレーで表示されます。

ページを切り替える

Acrobat Reader には、PDF 文書の表示ページを切り替えるためのボタン、ショートカットキー、およびメニューコマンドがあります。

別のページに移動するには、

次のいずれかを行います。

- 次のページに移動するには、コマンドバーまたはステータスバーの [次ページ] ボタン ▶ をクリックするか、右矢印キーを押すか、[Ctrl] キー (Windows) または [Option] キー (Macintosh) を押しながら下矢印キーを押すか [文書] メニューの [次ページ] をクリックします。
- 前のページに移動するには、コマンドバーまたはステータスバーの [前ページ] ボタン ◀ をクリックするか、左矢印キーを押すか、[Ctrl] キー (Windows) または [Option]

キー (Macintosh) を押しながら上矢印キーを押すか、[文書] メニューの [前ページ] をクリックします。

- 1 行下に移動するには、下矢印キーを押します。
- 1 行上に移動するには、上矢印キーを押します。

注意：上矢印キー、または下矢印キーを押すと、[ウィンドウの幅に合わせる] 表示モードでは、一度に 1 ページずつ移動し、他の表示モードでは一度に 1 行ずつ移動します。

- 1 画面だけ下に移動するには、[Page Down] キーまたは [Return] キーを押します。
- 1 画面だけ上に移動するには、[Page Up] キーまたは [Shift + Return] キーを押します。
- 最初のページに移動するには、コマンドバーまたはステータスバーの [最初のページ] ボタン  をクリックするか [Home] キーを押すか、[文書] メニューの [最初のページ] をクリックします。
- 最後のページに移動するには、コマンドバーまたはステータスバーの [最後のページ] ボタン  をクリックするか、[End] キーを押すか、[文書] メニューの [最後のページ] をクリックします。

ページ番号を指定して移動するには、次のいずれかを行います。

- ステータスバーの [現在のページ番号] ボックスをクリックし、移動先のページ番号を入力して [Return] キーを押します。

[一般の環境設定] ダイアログボックスで、[ページ番号使用] チェックボックスをオンにしている場合に、文書のページ番号と PDF ファイルのページ番号が違っていると、ステータスバーにページの通し番号が括弧で囲んで表示されます。例えば、最初のページに「iii」という番号が付いている場合は、「iii (1 / 10)」と表示されます。括弧の中をダブルクリックしてページ番号を変更し、[Return] キーを押して指定したページに移動します。

- [文書] メニューの [ページ指定] をクリックし、ページ番号を入力して [OK] をクリックします。

[一般の環境設定] ダイアログボックスの [ページ番号使用] チェックボックスをオンにしている、文書のページ番号と PDF ファイルのページ番号が異なる場合は、[ページ指定] ダイアログボックスで括弧の中のページ番号を入力します。

- 見たいページが表示されるまで、ウィンドウの横にあるスクロールバーをドラッグします。

今まで表示した画面を逆戻りするには、

次のいずれかを行います。

- PDF 文書内で表示画面を逆戻りするには、コマンドバーの [前の画面] ボタン  をクリックするか、[文書] メニューの [戻る] をクリックし、表示画面を 1 つずつ逆戻りします。または、[次の画面] ボタン  をクリックするか、[文書] メニューの [進む] をクリックし、一旦逆戻りした画面を、また 1 画面ずつ進めます。

- 他の PDF 文書に戻るには、[文書] メニューの [前の文書に戻る] をクリックし、1 文書ずつ前に戻るか、[文書] メニューの [次の文書に進む] をクリックし、1 文書ずつ進みます。または、[Shift] キーを押しながら、[戻る] ボタンまたは [進む] ボタンをクリックします。戻りたい PDF 文書が閉じていても、このコマンドでその PDF 文書が開きます。

サムネールを使って PDF 文書内を移動する

サムネールは、文書の各ページの小さなプレビューで、左側のウィンドウに表示されます。サムネールを使って、別のページ表示したり、現在のページの表示方法を変更することができます。

サムネールを使って PDF 文書内を移動するには、

- 1 サムネールパレットを表示します。パレットを開くには、[ウィンドウ] メニューの [サムネールを表示] をクリックするか、[サムネール] タブをクリックしてサムネールパレットを一番手前に表示します。
- 2 次のいずれかを行います。
 - 別のページに移動するには、移動先のページのサムネールをダブルクリックします。

- 現在のページの別の部分を表示するには、ページのサムネールに表示されている枠にポインタを置きます。ポインタが[手のひら]ツール  に変わったら、この枠をドラッグして表示範囲を変更します。

注意: グレーのボックスのサムネールが表示された場合はPDF 文書の作成者がサムネールを作成していません。ページの内容を見るのではなく、単にページの縮小版として見るか、またはPDF 文書の作成者にサムネールを作成するように依頼してください。

しおりを使って PDF 文書内を移動する

しおりは、見たいページをすばやく開けるように印を付ける、別の文書にリンクする、Web にリンクする、ムービーやサウンドを作成する、アートを開く、またはフォームを送信したりリセットするために使うことができます。

しおりを使って PDF 文書内を移動するには、

- 1 しおりパレットを表示します。パレットを開くには、[ウィンドウ]メニューの[しおりを表示]をクリックするか、[しおり]タブをクリックしてしおりパレットを一番手前に表示します。
- 2 しおりに示されている項目に移動するには、パレット内のしおりアイコンまたはテキストをクリックします。

注意: しおりをクリックすると、別の場所に移動せずに、ムービーの再生などの他の動作が実行される場合があります。どのような動作が実行されるかは、しおりが定義されている方法によって異なります。

現在文書ウィンドウに表示されている部分を示すしおりは、太字で表示されます。

しおりを、別のしおりの下の階層に入れることができます。この場合、上のレベルのしおりが親で、下のレベルのしおりが子になります。パレット内の親しおりを閉じて、その下にある子しおりをすべて非表示にできます。閉じている親しおりの横には、プラス記号 (Windows) または右向き三角矢印 (Macintosh) が表示されます。このプラス記号または三角矢印をクリックすると、親しおりが開いて子しおりが表示されます。

リンクをたどる

リンクは、同じ文書内の別の部分に移動する、別の PDF 文書に移動する、別のアプリケーションファイルを開く、Web 上に移動する、ムービーやサウンドを再生する、アートを開く、注釈を表示または非表示にする、フォームデータを取り込む、またはフォームを送信したりリセットするのに使うことができます。

リンクを使って移動するには、

- 1 [手のひら] ツール 、[ズーム] ツール、または [テキスト選択] ツールを選択します。
- 2 ページ内のリンクのある場所にポインタを置きます。ポインタが指差した手の形  (リンク先が Web 上の場合は、手にプラス記号が付きます) に変わったら、リンクをクリックします。

注意：リンクをクリックすると、別の場所に移動せずに、ムービーの再生などの他の動作が実行される場合があります。どのような動作が実行されるかは、リンクの定義されている方法によって異なります。



リンクのある場所にポインタを置き [Shift] キーを押すと、リンクをアクティブにせずにツールを使用できます。例えば、テキスト選択ツールを選択し、リンクにポインタを置いて [Shift] キーを押すと、リンクのテキストを選択して、編集することができます。

注意 : [Web リンク的环境設定] ダイアログボックスで、使用する Web ブラウザを必ず選択しておいてください。詳しくは、[Web リンク先の PDF 文書を開く Web ブラウザを選択する](#)を参照してください。

今まで表示した画面を逆戻りする

同じ文書内または別の文書の今まで表示した画面を逆戻りすることができます。

今まで表示した画面を逆戻りするには、

次のいずれかを行います。

- PDF 文書内で表示画面を逆戻りするには、コマンドバーの [前の画面] ボタン  をクリックするか、[文書] メニューの [戻る] をクリックし、表示画面を 1 つずつ逆戻りします。または、[次の画面] ボタン  をクリックするか、[文書] メニューの [進む] をクリックし、一旦逆戻りした画面を、また 1 画面ずつ進めます。
- 他の PDF 文書に戻るには、[文書] メニューの [前の文書に戻る] をクリックし、1 文書ずつ前に戻るか、[文書] メニューの [次の文書に進む] をクリックし、1 文書ずつ進みます。または、[Shift] キーを押しながら、[戻る] ボタンまたは [進む] ボタンをクリックします。戻りたい PDF 文書が閉じていても、このコマンドでその PDF 文書が開きます。

ア－ティクルを読む

ア－ティクルは文書内の関連する内容をつなぐのに使います。通常ア－ティクルは、雑誌のように段組みされている文書を読みやすくするために作成されています。

ア－ティクルを読むには、

1 次のいずれかを行います。

- ア－ティクルパレットを表示します。ア－ティクルの最初から読み始めるには、パレット内のア－ティクルアイコンをダブルクリックします。
- [手のひら] ツール  を選択します。ア－ティクルの途中から読み始める場合は、読み始める部分をクリックします。最初から読み始める場合は、[Ctrl] キー (Windows) または [Option] キー (Macintosh) を押しながら、ア－ティクル内のどこかをクリックします。

2 ポインタが、ア－ティクルをたどるポインタ  に変わります。次のようにして、表示するア－ティクルを切り替えます。

- ア－ティクルの次のページに移動するには、[Return] キーを押すか、クリックします。
- 前のページに移動するには、[Shift + Return] キーを押すか、[Shift] キーを押しながらクリックします。
- ア－ティクルの最初のページに移動するには、[Ctrl] キー (Windows) または [Option] キー (Macintosh) を押しながらクリックします。
- ア－ティクルを読むのを中止するには、[Shift + Ctrl] キー (Windows) または [Shift + Option] キー (Macintosh) を押しながらクリックします。

3 アーティクルの最後にくると、ポインタがアーティクル終了ポインタ  に変わります。アーティクルを読み始める前の画面に戻るには、[Return] キーを押すか、クリックします。

PDF 文書内を検索する

[検索] コマンドを使って、現在開いている PDF 文書内の語句や語句の一部 (文字列) を検索することができます。フォームフィールドの中のテキストも含み、ファイル内の全ページのすべての文字が読み取られて検索されます。

[検索] コマンドを使って PDF 文書内を検索するには、

- 1 [検索] ボタン  をクリックするか、[編集] メニューの [検索] をクリックします。
- 2 [検索する文字列] テキストボックスに、検索したい文字列を入力します。
- 3 必要に応じて、次のオプションを指定します。
 - [完全に一致する単語だけを検索] チェックボックスをオンにすると、[検索する文字列] テキストボックスに入力した文字列にまったく同じ文字列だけが検索されます。例えば、[検索する文字列] テキストボックスに「stick」と入力した場合は、「tick」や「sticky」は無視されます。
 - [大文字と小文字を区別] チェックボックスをオンにすると、[検索する文字列] テキストボックスに入力した欧文文字列と、大文字と小文字の別が一致した、まったく同じ文字列だけが検索されます。
 - [先頭に向かって検索] チェックボックスをオンにすると、現在のページから文書の先頭に向かって検索されます。

4 [検索] ボタンをクリックします。指定した文字列の検索が開始されます。

PDF 文書内で次に出てくる一致文字列を見つけるには、次のいずれかを行います。

- [編集] メニューの [次を検索] をクリックします。
- [検索] ダイアログボックスの [検索] ボタンをクリックします (前回入力した文字列が、[検索する文字列] テキストボックスにそのまま表示されています)

注釈を見る

Adobe Acrobat 4.0 の注釈機能を使うと、既存の文書にコメントを追加できます。このようなコメントには、ノート、テキスト、音声、スタンプ、ファイル、グラフィックマークアップ、およびテキストマークアップの形式があります。Acrobat Reader では注釈を開いて内容を確認できますが、注釈を編集したり、添付された注釈ファイルを開いたり、音声注釈を再生したりすることはできません。ノート注釈は文書から直接印刷することはできません。

ノート注釈を見るには、次のいずれかを行います。

- ノートを開くには、ノートアイコンをダブルクリックします。
- ノートを閉じるには、ノートウィンドウの左上隅にあるクローズボックスをクリックします (Macintosh では、ノートを選択している場合は、[Command + W] キーを押してノートを閉じることもできます。)

注釈の環境設定を設定する

注釈のフォントとポイントサイズを設定できます。

注釈の環境設定を設定するには、

- 1 [ファイル]メニューの[環境設定]をポイントし、[注釈]をクリックします。
- 2 [フォント]ドロップダウンリストで使いたいフォントの種類を選択します。
- 3 [フォントサイズ]テキストボックスに数値を入力するか、ドロップダウンリストからサイズを選択します。
- 4 [OK]をクリックします。

ムービーやサウンドを再生する

Windows 版と Macintosh 版のビューアでは、PDF 文書に追加されたムービーやサウンドを再生できます。Windows でムービーやサウンドを再生するには、コンピュータに適切なサウンドボードとビデオボードがインストールされていることと、Apple QuickTime 2.0 以降または Microsoft Video for Windows ソフトウェアが必要です。Macintosh では、QuickTime 2.0 以降が必要です。

ムービークリップを再生するには、

- 1 [手のひら]ツール < graphic here > を選択します。
- 2 ムービーの上にカーソルを移動します。カーソルがフィルムの変形になります。
- 3 クリックすると、クリップの再生が始まります。

4 再生を中止するには、再びクリックするか、または [Esc] キーを押します。

注意：リンク、しおり、フォームフィールド、またはページ開閉時の動作設定によって、ムービーやサウンドの再生がアクションとして設定されている場合には、ムービーやサウンドを文書内で再生できます。

電子署名付きの文書を表示する

Acrobat Reader 4.0 では、電子署名付きの PDF 文書を表示して印刷することができます。ただし、電子署名を認証したり、PDF 文書に電子署名を入れることはできません。電子署名は、テキスト、グラフィック、または手書きの署名として文書内に表示されます。

Windows 版 Acrobat 4.0 は、電子署名を完全にサポートしています。

フォームに入力する

Web ブラウザで PDF 文書を表示している場合は、Acrobat Reader で PDF 文書内のフォームに入力して、Web に送信することができます。Web ブラウザで表示していない場合は、Reader からデータ入りのフォームを印刷してください。

フォームに入力するには、

1 [手のひら] ツール  を選択します。

2 フォームフィールド内をクリックします。I 型ポインタを使ってテキストを入力し、矢印ポインタを使ってボタン、チェックボックス、ラジオボタン、またはリスト内の項目を選択します。

3 テキストを入力するか、リスト内の項目、チェックボックス、またはラジオボタンを選択した後、次のいずれかを行います。

- フォームフィールドの変更を確認して、次のフォームフィールドに移動するには、[タブ] キーを押します。
- フォームフィールドの変更を確認して、前のフォームフィールドに移動するには、[Shift] キーを押しながら [タブ] キーを押します。
- フォームフィールドの変更を確認して、現在のフォームフィールドの選択を解除するには、[Enter] キー (Windows) または [Return] キー (Macintosh) を押します。

テキストを複数行入力できるフィールドでは、[Enter] キーまたは [Return] キーを押すと同じフィールド内の次の行に移動します。変更を確認して現在のフォームフィールドの選択を解除するには、数字キーパッドの [Enter] キーを使います。

- フォームフィールドの変更を取り消して、現在のフォームフィールドの選択を解除するには、[Esc] キーを押します。

全画面モードでフォームを表示しているときに [Esc] キーを押すと、全画面モードが終了します。もう一度 [Esc] キーを押すと、フォームフィールドの変更が取り消され、現在のフォームフィールドの選択が解除されます。

4 必要な入力が終わったら、フォームの [送信] ボタン (フォームに付いている場合) をクリックします。このボタンには別の名前が付いている場合があります。このボタンをクリックすると、フォームデータが Web または社内のイントラネットを介してデータベ-

スに送信されます。このボタンは、Web ブラウザで PDF 文書を表示しているときだけ使えます。

重要： Acrobat を使わないと、フォームデータを取り込んだり、入力したフォームを保存したりすることはできません。

ブラウザウィンドウ内でフォームをクリアするには、次のいずれかを行います。

- フォームの [リセット] ボタン (フォームに付いている場合) をクリックします。
- ファイルを保存せずに Acrobat ビューアを終了し、再起動します。

[再読み込み] ボタンや [戻る] ボタンをクリックしたり、WWW ブラウザウィンドウでリンクをたどったりしても、フォームはクリアされません。

重要： この操作は元に戻せません。

PDF テキストやグラフィックを別のアプリケーションにコピーする

PDF 文書のテキストやグラフィックをクリップボードにコピーして、ワードプロセッサなどの別のアプリケーションのファイルに貼り付けることができます。また、PDF 文書のテキストを注釈名やしおり名に貼り付けることもできます。

注意： PDF 文書からコピーしたテキストのフォントが、コピー先のシステム上で使えない場合は、元のフォントは使われず、デフォルトフォントで置き換えられます。

テキストを選択してクリップボードにコピーするには、

1 [テキスト選択] ツール  を選択し、次のいずれかを行います。

- テキストを選択するには、選択したい最初の文字を選択し、最後の文字までドラッグします。
- テキストの列を横に複数選択するには、[Ctrl] キー (Windows) または [Option] キー (Macintosh) を押しながらページを横切るようにドラッグします。
- テキストを 1 列縦に選択するには、[Ctrl + Alt] キー (Windows) または [Option + Command] キー (Macintosh) を押しながら、上下にドラッグします。
- ページ内のすべてテキストを選択するには、[編集] メニューの [すべてを選択] をクリックします。単一ページモードでは、現在のページのすべてのテキストが選択されます。連続モードまたは見開きページモードでは、文書のほとんどのテキストが選択されます。マウスのボタンを放すと、選択されたテキストが強調表示されます。テキストの選択を解除してやり直すには、選択したテキストの外側をクリックします。

[すべてを選択] コマンドで、文書内のすべてのテキストが選択されることはありません。Windows では、[編集] メニューの [クリップボードにファイルをコピー] をクリックすると、文書内のすべてのテキストを選択できます。

2 [編集] メニューの [コピー] をクリックし、選択したテキストをクリップボードにコピーします。

3 クリップボード内のテキストを表示するには、[ウィンドウ] メニューの [クリップボードを表示] をクリックします。



Windows 95 のデフォルトでは、クリップボードビューアはインストールされません。クリップボードビューアをインストールしないと [クリップボードを表示] コマンドは使えません。クリップボードビューアをインストールするには、[スタート] メニューの [設定] をポイントし [コントロールパネル] クリックします。次に、[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックし、[Windows ファイル] タブをクリックします。[アクセサリ] をダブルクリックし、[クリップボードビューア] チェックボックスをオンにして [OK] をクリックします。

グラフィックをクリップボードにコピーするには、

- 1 [グラフィックス選択] ツール  を選択します。カーソルが十字線に変わります。
- 2 コピーしたいグラフィックの周りにボックスをドラッグします。グラフィックの選択を解除してやり直すには、選択したグラフィックの外側をクリックします。
- 3 [編集] メニューの [コピー] をクリックし、グラフィックをクリップボードにコピーします。
- 4 クリップボード内のグラフィックを表示するには、[ウィンドウ] メニューの [クリップボードを表示] をクリックします。グラフィックは WMF 形式 (Windows) または PICT 形式 (Macintosh) でコピーされます。

Web 上で PDF を使う

PDF 文書を World Wide Web 上で発行して、Web ブラウザで読むことができます。また、Acrobat ビューアを Web ブラウザの補助アプリケーションとして設定すると、Acrobat ビューアで読むこともできます。詳しくは、[Web 上の PDF 文書を表示する](#)、[ページごとにダウンロードする](#)、および [Web 上の PDF 文書を読む](#)を参照してください。

Web 上の PDF 文書を表示する

次に、Web 上の PDF 文書を表示するときの例を 4 つ示します。

- ブラウザで PDF 文書が表示可能で、PDF ファイルが最適化されていて、Web サーバが 1 ページごとのダウンロード（バイトサービング）をサポートしている場合は、PDF ファイルが一度に 1 ページずつダウンロードされて Web ブラウザウのウィンドウに表示されます。この場合が、Web 上の PDF を最も速く表示できます。
- ブラウザで PDF 文書が表示可能だけでも、PDF ファイルが最適化されていないか、サーバがバイト送信をサポートしていない場合は、PDF ファイル全体がブラウザのインストールされているコンピュータにダウンロードされてから、ブラウザウィンドウに表示されます。
- ブラウザで PDF 文書が表示可能で、PDF ファイルが HTML ページに埋め込まれている場合は、Internet Explorer などの ActiveX ブラウザは、文書内の表示ページの切り替えをサポートします。Netscape Navigator と互換性のあるブラウザで、HTML ページに埋め込まれている PDF 文書を表示できますが、表示ページを変えるには全画面表示に切り替えなければなりません。

- AcrobatまたはAcrobat Readerをブラウザの補助アプリケーションとして設定すると、ブラウザウィンドウで PDF 文書を表示できる場合があります。ただし、PDF ファイル全体は、ブラウザがインストールされているコンピュータにダウンロードされてから、Acrobat ビューアが別のアプリケーションとして起動し、PDF 文書を表示します。

ページごとにダウンロードする

ページごとのダウンロード（バイトサービング）では、Web サーバは、PDF 文書全体ではなく、指定されたページ情報だけを送信します。この処理は、Acrobat Reader と Web サーバ間でバックグラウンドで行われるので、PDF 文書を読むときに特にユーザが操作する必要はありません。しかし、指定した最初のページを見ている間に、引き続き PDF 文書全体をダウンロードしたい場合は、[一般の環境設定] ダイアログボックスで [バックグラウンドでダウンロード] チェックボックスがオンになっていることを確認してください（このチェックボックスは、デフォルトでオンになっています）。

Web サーバがページごとのダウンロードをサポートしていない場合は、CGI アプリケーションを使ってページごとにダウンロードできます。

Web 上の PDF 文書を読む

Web 上の各文書やその他のリソースにはすべて、固有の URL (uniform resource locator) アドレスが付いています。Web 上の PDF 文書への URL リンクをクリックすると、その URL が付いている文書が Web ブラウザで表示されます。ブラウザの補助アプリケーションとして Acrobat Reader を設定している場合は、文書は Acrobat Reader で表示されます。また、Web 上の HTML 文書に埋め込まれた PDF ファイルを読むこともできます。詳しくは、[Web ブラウザで PDF 文書を読む](#)、[HTML に埋め込まれている PDF 文書を読む](#)、および [Acrobat Reader を補助アプリケーションとして設定する](#)を参照してください。

Web ブラウザで PDF 文書を読む

PDF 文書は、Netscape Navigator 3.0 以上、または Internet Explorer 3.0 以上と互換性のある Web ブラウザで表示できます。必要なプラグインは、Acrobat をインストールするときに自動的にインストールされます。お使いのブラウザの設定方法について詳しくは、[Web ブラウザのプラグインをインストールする](#)を参照してください。

PDF 文書を Web ブラウザで表示するときは、Acrobat Reader のすべてのツールをブラウザで使用できます。Windows では、ツールバーの左側にある [Acrobat] アイコンの横の 2 本の縦線をクリックすると、ツールバーを最小化または最大化することができます。

注意：キーボードのコマンドの多くは、Acrobat Reader ではなく Web ブラウザに割り当てられるので、Acrobat Reader のショートカットキーがブラウザウィンドウで使えないことがあります。

アドビシステムズ社の Web サイトにアクセスする

[Adobe の Web サイトを開く] ボタンをクリックすると、アドビシステムズ社の Web サイト (www.adobe.co.jp) に直接リンクします。このページには、新技術に関する情報や Acrobat プラグインへのリンクなど、多くの情報が入っています。アドビシステムズ社の Web サイトの英語版ホームページ (<http://www.adobe.com>) では、[Adobe Sites] ドロップダウンリストで国名をクリックして言語を選択できます。ただし、サイトに含まれる情報の詳細は言語によって異なります。

Web 上で検索する

Web 検索エンジンによっては、Web サーバ上の HTML 文書だけでなく PDF 文書にも索引を付けるものがあります。また、検索結果の強調表示がサポートされている場合がありますが、PDF の索引付けをサポートしている検索エンジンのすべてが強調表示をサポートしているとは限りません。

PDF 文書に索引を付ける検索エンジンを使っている Web サイトを参照すると、検索結果一覧に PDF 文書も含まれます。PDF 文書の検索結果の強調表示をサポートしている検索エンジンを使っている Web サイトで、検索結果一覧から PDF 文書を開くと、Web ブラウザの Acrobat Reader ツールバーにある [次を強調表示] ボタン  と [前を強調表示] ボタン  がアクティブになります。また、文書内で見つかった語句も強調表示されます。

次の一致箇所を表示するには、[次を強調表示] ボタンをクリックします。前の一致箇所に戻るには、[前を強調表示] ボタンをクリックします。この 2 つのボタンで、PDF 文書間を移動できますが、HTML 文書間は移動できません。

HTML に埋め込まれている PDF 文書を読む

HTML ページに PDF 文書を埋め込むことができます。通常、HTML に埋め込まれている PDF 文書の最初のページの画像が表示されます。HTML ページの作成者によって、クリックすると別のウィンドウで PDF 文書が開くように設定されていることがあります。PDF 文書は、ブラウザの設定によって、ブラウザウィンドウまたは Acrobat Reader ウィンドウに表示されます。

埋め込まれた PDF 文書が、別のウィンドウで開くように設定されていない場合は、Internet Explorer と互換性のあるブラウザを使うと PDF ファイルがインタラクティブになります。Netscape Navigator と互換性のあるブラウザではインタラクティブになりません。例えば、HTML に埋め込んで表示される PDF ファイル内のリンクは、Internet Explorer ではアクティブになりますが、Netscape Navigator ではアクティブになりません。

Acrobat Reader を補助アプリケーションとして設定する

Web ブラウザウィンドウで PDF 文書を表示できない場合や、PDF 文書を Web ブラウザではなく Acrobat Reader で表示したい場合は、ブラウザの環境設定で Acrobat Reader を補助アプリケーションとして設定します。このように設定すると、Web 上の PDF 文書を見るときに、Acrobat Reader が起動して文書が表示されます。ただし、Acrobat Reader が補助アプリケーションとして動作している間は、ページごとのダウンロード、ブラウザからのフォームの送信、または Web 上の検索結果の強調表示機能は使えません。また、埋め込まれている PDF 文書も表示できません。

PDF ファイルを認識するように Web ブラウザを設定するには、MIME の種類とファイルの種類を定義する必要があります。ファイルの種類は pdf に、MIME の種類はアプリケーションまたは pdf に設定します。設定方法について詳しくは、お使いのブラウザのマニュアルを参照してください。

Netscap Navigator 2.0 以上を Windows または Macintosh で使っている場合に、Acrobat Reader を補助アプリケーションに設定するには、PDFViewer プラグインの名前を変更するか、このプラグインを Netscape plug-in フォルダから削除します。このプラグインの名前は、nppdf32.dll(Windows) または PDFViewer (Macintosh) です。

Windows で Acrobat Reader を補助アプリケーションとして設定するには、

- 1 [ファイル] メニューの [環境設定] をポイントし [一般] をクリックします。
- 2 [Web ブラウザに組み込み] チェックボックスをオンにし、[OK] をクリックします。

注意：この手順は、Macintosh では必要ありません。

Web ブラウザのプラグインをインストールする

Netscape Navigator と互換性のあるブラウザで PDF 文書を表示するには、nppdf32.dll ファイル(Windows)またはPDFViewer プラグイン(Macintosh)が必要です。Netscape Navigator がシステム上にある場合には、Acrobat Reader のインストール時に、このプラグインが Netscape plug-in フォルダに自動的にインストールされます。Acrobat Reader をインストールした後で Navigator をインストールした場合や、Navigator と互換性のある別のブラウザを使っている場合は、このプラグインを手動でインストールします。

(Windows) Web ブラウザプラグインをインストールするには、

- 1 [Acrobat Reader] フォルダ内の [Browser] フォルダを開きます。
- 2 Web ブラウザの [plug-ins] フォルダに nppdf32.dll ファイルと nppdf32.JPN をコピーします。

(Macintosh) Web ブラウザプラグインをインストールするには、

- 1 [Acrobat Reader] フォルダ内の [Web BrowSer Plug-in] フォルダを開きます。
- 2 Web ブラウザの [plug-ins] フォルダに [PDFViewer] と [Locale] フォルダをコピーします。

色の補正について

PDF (Portable Document Format) では、デバイスに依存しない色 (DIC) を利用できます。DIC により、PDF 文書の作成者はページ内のオブジェクトの色を、出力先のモニターやプリンタの色の特性に依存しない方法で指定できます。

デバイスはそれぞれ独自のカラー言語を使うので、デバイス間でカラー情報がうまく伝わらない場合があります。そのため、カラーマネージメントシステムのようなデバイス間の通訳の役割を果たすシステムが必要になります。カラーマネージメントシステムは、すべての色情報を参照する言語として、デバイスに依存しないカラーモデルを使います。Acrobat Reader が使用するカラーモデルは、1976年にCIE (国際照明委員会) により開発された CIELAB というモデルです。CIE の色測定基準は、色を生成するデバイスではなく、肉眼で色を知覚する方法をベースにしています。



画像は、コンピュータのモニタ、テレビの画面、映画、および4色印刷などの出力デバイスのカラースペースよりも広範囲のデバイスに依存しないカラースペースで編集することができます。編集した画像は、出力デバイスのプロパティ情報の入ったプロファイルとともに保存します。

このようなカラーマネジメントシステムの利点を活かすと、画像にいろいろな出力プロファイルを添付するだけで、さまざまなデバイスでの表示に対応できるので、画像の可搬性が向上します。

オンラインユーザガイドの印刷方法

オンラインユーザガイドのページはオンライン閲覧用に調整されているため、1枚の用紙の片面に2ページずつ印刷するのに適しています。

片面に2ページずつ印刷するには、

1 [ファイル]メニューの[ページ設定](Windows)またはメニューの[用紙設定](Macintosh)をクリックします。

2 次のいずれかを行います。

- Windowsでは、[オプション]をクリックし、[用紙]タブで[2 up]を選択します。次に、[OK]をクリックして[印刷設定]ダイアログボックスに戻り、[OK]をクリックしてダイアログボックスを閉じます。



- Macintosh では、[割り付け] ドロップダウンリストで [2 ページ分] を選択し、[OK] をクリックします。

注意 : Windows で [2 up] を選択できない場合は、Adobe PostScript プリンタドライバを使っていない可能性があります。

- 3 [ファイル] メニューの [印刷] (Windows) または [プリント] (Macintosh) をクリックします。
- 4 印刷する ページ範囲を指定します。
- 5 [OK] (Windows) または [プリント] (Macintosh) をクリックします。

© 1999 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe Acrobat Reader 4.0 ユーザガイド

本書および本書内に記載されているソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、使用許諾契約条項に従って使用または複写することができます。本書に記載された内容は情報の提供のみを目的としており、予告なしに変更されることがあります。Adobe Systems Incorporated (以下「アドビシステムズ社」といいます) は、本書の内容についていかなる責任も負いません。また、本書に誤りや不正確な記述があった場合にも、アドビシステムズ社は一切責任を負いません。

本書と同封されている著作権付きソフトウェアは、エンドユーザ使用許諾契約の条項に従って使用する場合に限り、エンドユーザにライセンス付与されます。ソフトウェアを使用する前に、エンドユーザ使用許諾契約を必ずお読みください。使用許諾契約条項で許可されている場合を除き、本書の一部または全部を、アドビシステムズ社の事前の書面による許可なく、電子的、機械的、録音を含むいかなる手段や形式によっても、複製、検索システムへの保存、または伝送することを禁じます。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Acrobat ロゴ、Distiller、Illustrator、Photoshop、およびPostScript は、Adobe Systems Incorporated の商標です。Microsoft、Windows、Windows NT、Excel および PowerPoint は、Microsoft Corporation の米国および他諸国での商標または登録商標です。Apple、Macintosh、および Power Macintosh は、Apple Computer, Inc. の米国および他諸国での登録商標です。QuickTime と QuickTime ロゴはライセンス付与されて使用しています。UNIX は、Open Group の登録商標です。Pentium は、Intel Corporation の商標です。その他すべての商標は、該当する各社が所有しています。

Mercutio 1.5.2, © Ramon M. Feliciano, 1992-1999. All rights reserved.

米国特許番号 4,837,613; 5,185,818; 5,634,064; 5,729,637; 5,737,599; 5,754,873; 5,781,785; 5,819,301; 5,832,530; 5,832,531; 5,835,634; 5,625,711. 特許出願中。

本製品は、米国特許番号 4,558,302 のライセンス付与された LZW アルゴリズムを使用しています。

制作 : Adobe Systems Incorporated, 345 Park Ave, San Jose, CA 95110-2704.

アドビシステムズ株式会社、〒150-6017 東京都渋谷区恵比寿 4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー

Adobe Systems Europe Limited, Adobe House, 5 Mid New Cutlins, Edinburgh EH11 4DU, Scotland, United Kingdom

Adobe Systems Pty. Ltd., P.O. Box 672, 18-20 Orion Road, Lane Cove, New South Wales 2066, Australia

World Wide Web : www.adobe.com